

あ・そ・ま・な

とくしゅう
特集

新宿

地区名の由来



新宿区のマーク



資料提供：新宿歴史博物館

「新宿」の
由来

江戸時代の初めに甲州道中が整備されたとき、江戸から最初の宿場は高井戸でした。街道のスタート地点は日本橋なので、日本橋から高井戸までは約15km。江戸からの旅人は「最初の宿場まで遠いよ～」と困っていました。そこで、町人の高松喜兵衛たちが幕府にお願いし、現在の新宿御苑の近くに新たな宿場を作りました。このため、新しい宿場＝新宿となりました。五街道の中では最後にできた宿場です。（新宿歴史博物館 常設展示解説シートを参考にしました）



過去のあ・そ・ま・な
はこちらから見られます
（区ホームページ）

農業体験のようす

畑の先生から野菜がより元気に育つお話を聞いたら、いざ畑に！
ぬかるむ水田に足をとられながらも秋には美味しいお米になるように、
みんな真剣に苗付けをしました。



開耕式のようす



今日の作業は...



鴨のつかいが仲良く
田んぼのお手伝い



穂先を揺らして受粉
のお手伝い



わあ！こんなにとれたよ
夏野菜



大きく育ってね
サツマイモの苗

子ども自然体験キャンプ

令和6年7月6日・7日

1日目の夕方にわか雨、でもなんとか花火もできました。ピザ作り、カレー作り、いも掘り、フラワーパークめぐりと目一杯楽しんでできました。それぞれ皆違う学校の子どもたちも、行きのバスの中でもう仲良くなって、なじめない子もいましたが、みんなでフォローしたりして、子どもたちの力は素晴らしいと思ったキャンプでした。



お昼のピザは自分でつくります



テントの設営を学びました



私たちが作ったカレー
おいしかったー



次はあなたの番だよ
ターザンロープが
楽しかった

お問合せ 新宿区青少年活動推進委員会では「あ・そ・ま・な」に対するご意見、ご感想や情報提供を
電話・ファックスにて受け付けております。お気軽にお寄せください。

TEL：03-3232-0695

FAX：03-3232-0666

発行日：令和6年10月8日

編集：新宿区青少年活動推進委員会

発行：新宿区青少年活動推進委員会事務局 〒160-0022 新宿区新宿七丁目3番29号

新宿区立子ども総合センター 子ども家庭支援課子育て支援係

新宿区は、環境への負荷を少なくし、未来の環境を創造するまちづくりを推進しています。
本誌は森林資源の保護とリサイクルの促進のため、古紙を利用した再生紙を使用しています。



新宿

地区名の由来 を調べてみました

四谷

四谷

- ①千日谷、茗荷谷、千駄ヶ谷、大上谷の四つの谷があった。
 - ②甲州街道の休憩所として茶屋、保久屋、梅屋、布屋の四つの家があり、「家(屋)」が「谷」になった。
- など諸説あります。(★)

津の守坂

荒木町にはかつて尾張徳川家の分家の高須藩松平家の上屋敷がありました。高須藩主 松平氏が摂津の守だったので、津の守坂と名付けられました。(★)

簞笥町

簞笥町

御具足奉行組同心、御弓矢鎧奉行組同心の拝領町屋敷で、武器総称を「御簞笥」と唱えることから町名に用いました。(★)

牛込

「込」は多く集まるという意味があり、大昔、この地一帯にたくさんの牛が放牧されていたので、この名が起きたといわれています。
(新宿区 HP「新宿区について(名前の由来・歴史・地勢)」より引用)

新宿区は、10の地区に分かれています。

榎町

榎町

町内に榎の大木があったので榎町と言われるようになりました。(★)

若松町

若松町

かつて正月に若松を江戸城に献上していたことに由来します。(★)

箱根山

尾張藩徳川家下屋敷が置かれていた戸山荘時代に造られた築山を箱根山(現在の神奈川県箱根町)に見立て、庭園を旅するように造園したところから名付けられました。(★)

大久保

大久保

東大久保と西大久保との境の地形が、大きな窪地となっているので大窪村となりましたが、後に大久保村に改められました。他にも諸説あります。(★)

戸塚

戸塚

中世までさかのぼる古い地名で、はじめは富塚と書いていたそうです。①洪水のときでも戸をもってささえたとように水害から免れたため、②富塚という塚があったため、③古い塚がたくさんあったため、十塚と呼んだのが戸塚になった、など諸説あります。(★)

落合第一

落合第二

落合

- ①神田上水と井草川(妙正寺川)が落ち合うことから名付けられた。
 - ②上流に玉川と井の頭池の下流と合流する箇所があることから地名に名付けられた。
- など諸説あります。(★)

★印は、新宿歴史博物館 HP、「新修 新宿区町名誌」(新宿歴史博物館)を参考にしました。

柏木

柏木

- ①柏木右衛門佐頼季の居住地から。
 - ②カシワ(かしわ、どんぐり)の木が多かったから。
- など諸説あります。(★)

角筈

角筈

江戸時代以前から存在する村名で諸説ありますが、一説では熊野神社北側に住んでいた旧家の名主の渡辺与兵衛の髪束ね方が、ちょうど角のようであったから、里人は「角髪来る」といったので、それがもとで村名になり、その後、髪は筈に改められました。(★)

十二社

十二社の名の由来は、応永年間(1394～)創建の十二社熊野神社によるものです。紀州熊野の本宮、新宮、那智の三社の神々をはじめ、合計十二の神々を一社の中に一緒に祀る相殿にしたことがその名の由来です。(★)

施設名の由来

1. 新宿コズミックスポーツセンター

建物の愛称を広く区民から募集し、決定しました。コズミックとは「宇宙的な」「広大無辺な」といった意味で、無限に発展する新宿区の生涯学習とスポーツを象徴したものです。
(提供: 新宿区生涯学習スポーツ課)

2. 新宿ここ・から広場

「施設を利用するすべての人の心(こころ)と体(からだ)が元気になってほしい」「この場所(ここ)から、成長し仲間づくりをしてほしい」との願いを込めた、公募により決定した愛称です。

(新宿区 HP「新宿ここ・から広場」より引用)